

新年のご挨拶「私は思います」

社主 堤 九十生

新年明けましておめでとうございます。

新年に相応しくない挨拶になることをお詫びしなければなりません。

何故なら、皆様ご存知の米国次期大統領の問題と、正月早々に飛び込んで来た南極の氷山の分離のNHK報道に対する指導者の動向に注視していますが、放置できない重大問題として脳裏から離れないからです。

米国の大統領選挙でドナルド・トランプ氏が次期大統領に選ばれたことで日本政府も世界も彼の発言に全神経を注いでいます。今月二十日に就任演説をする予定になっていますが、何を発言し、どこに導こうとするのか誰もが大変心配していても心配しています。

彼の発言の基準は経済のようです。そのために関係諸国との力関係をカードに取引すれば弱者を守れません。そして南極氷山の溶解問題です。

これはトランプ氏とは無関係に確実に温暖化が進行している証です。

一部の放送局や科学者はこれを無視しテレビ談議で沸かせますが、刻々と時はまわり未来が闇で覆われようとしています。

私達は地域のリーダーと共にいち早く、農で生きる術を研鑽し自給率を高め、地元と隣の地域の自立を互助する方策を構築する方向に進むべきと定め、速やかに着手すべきと私は思います。